

## アサヒシール プライマーB

整理番号 P126102J  
版番号 1.0

改訂日 2013/02/06

発行日 2013/02/06

## 1. 化学品及び会社情報

## 製品情報

製品名 : アサヒシール プライマーB

## 会社情報

会社名 : 三井化学株式会社  
住所 : 東京都港区東新橋一丁目5番2号  
担当部門 : コーティング・機能材事業部  
電話 : 03-6253-4155  
FAX番号 : 03-6253-4222  
  
整理番号 : P126102J

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

引火性液体 : 区分3  
皮膚刺激性 : 区分2  
眼刺激性 : 区分2A  
発がん性 : 区分2  
生殖毒性 : 区分1B  
特定標的臓器毒性（単回ばく露） : 区分1（呼吸器系，肝臓，中枢神経系，腎臓）  
特定標的臓器毒性（単回ばく露） : 区分3（気道刺激性）  
特定標的臓器毒性（反復ばく露） : 区分1（呼吸器系，神経系）  
水生環境有害性（急性有害性） : 区分1

※記載のないものは区分外、分類対象外または分類できない

## GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報

: 引火性液体及び蒸気  
皮膚刺激  
強い眼刺激  
呼吸器への刺激のおそれ  
発がんのおそれの疑い  
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
臓器（呼吸器系，肝臓，中枢神経系，腎臓）の障害  
長期にわたる，又は反復ばく露による臓器（呼吸器系，神経系）の障害

## アサヒシール プライマーB

整理番号 P126102J  
版番号 1.0

改訂日 2013/02/06

発行日 2013/02/06

水生生物に非常に強い毒性

## 注意書き

## ： 予防策：

使用前に取扱説明書を入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

熱、火花、裸火及び高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。

容器を密閉し、容器を接地、アースをとるなど静電気放電に対する予防措置を講ずること。

防爆型の電気機器、換気装置、照明機器、及び火花を発生しない工具を使用すること。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用し、粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気やスプレーを吸入しないこと。

指定された個人用保護具（安全帽、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、保護手袋、保護衣、保護長靴又は安全靴など）を着用すること。

取扱い後は手および顔をよく洗うこと。

環境への放出を避けること。

## 応急措置：

火災の場合には、消火に霧状水、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）、乾燥砂などを使用すること。

吸入した場合は空気の新鮮な場所に移して休息させ、医師の手当を受けさせること。

皮膚（又は髪）に付着した場合は汚染された衣類を脱ぎ、流水又はシャワーと石けん（鹼）で洗い、皮膚刺激又は発しん（疹）が生じたときや気分の悪いときは医師の手当てを受けること。

皮膚（又は髪）に付着した場合は直ちに汚染された衣類を全て脱ぎ、流水又はシャワーと石けん（鹼）で洗うこと。

眼に入った場合は水で数分間洗い、コンタクトレンズを着用している場合は可能ならば外して洗浄を続け、刺激が続く場合は医師の手当てを受けること。

飲み込んだり、吸入又は接触したか、又はばく露の懸念がある場合、気分が悪いときは医師の手当を受けること。

特別な処置が緊急に必要な場合は、このラベルの補足の応急処置指示（指針番号）等を参照すること。

漏出物を回収すること。

## 保管：

容器を密閉して、換気の良いところに施錠して保管すること。

容器を密閉して、直射日光を避け、火気、熱源から遠ざけて、換気の良い涼しいところに保管すること。

## 廃棄：

内容物及び容器を廃棄する場合は、該当法規に従い、都道府県知事に許可された産業廃棄物処理業者に委託すること。

使用済みの容器は、他の用途に使用しないで適正に廃棄すること。

## アサヒシール プライマーB

整理番号 P126102J  
版番号 1.0

改訂日 2013/02/06

発行日 2013/02/06

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : アルコキシシラン溶液

化学名 (別名)	化学特性(示性式、 構造式等)	CAS番号	濃度又は 濃度範囲	官報公示整理番 号
エチルベンゼン	C8-H10	100-41-4	46%	化審法:3-28
キシレン	C8-H10	1330-20-7	49%	化審法:3-3
シロキサン化合物	非公開	非公開	5.0%	化審法:既存

## 4. 応急措置

吸入した場合 : 異常を感じたり、気分が悪くなった場合には、直ちに空気の新鮮な場所へ移動する。  
症状変化が現れた場合には、直ちに医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぐ。  
付着した製品を拭き取り、水又は微温湯で洗い流しながら石鹸を使って良く洗い落とす。  
外観に変化が見られたり痛みがある場合は、速やかに医師の手当てを受ける。

眼に入った場合 : 直ちに医師に診断/手当てを受けること。  
直ちに清浄な水で数分間洗浄する。  
洗眼の際、まぶたを指で良く開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行きわたるように洗浄する。  
コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。

飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないこと。  
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。  
口を水ですすぐ。  
保温して速やかに医師の手当てを受ける。

応急措置をする者の保護 : 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、保護長靴などの適切な保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じた治療を行う。

## 5. 火災時の措置

消火剤 : 霧状水, 泡消火剤, 粉末消火剤, 二酸化炭素 (CO2), 乾燥砂

## アサヒシール プライマーB

整理番号 P126102J  
版番号 1.0

改訂日 2013/02/06

発行日 2013/02/06

- 使ってはならない消火剤  
特有の危険有害性
- 消火を行う者の保護
- 詳細情報
- : 棒状水
  - : 当該製品は着火後爆発の危険性があるため、直ちに避難する。
  - : 消火作業の際は、状況に応じた保護具（自給式呼吸器、防火服、防災面など）を必ず着用する。
  - : 付近の発火源となるものを速やかに取り除く。  
火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する。  
移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。  
消火活動は、可能な限り風上から行う。  
容器、周囲の設備などに散水して冷却する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
- 環境に対する注意事項
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材
- : 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、保護長靴などの適切な保護具を着用する。  
漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。  
風上から作業し、風下の人を避難させる。  
作業の際には保護具を着用し、飛沫などが皮膚に付着したり、蒸気やミストを吸入しないようにする。  
漏れた場所の周辺から人を退避させる。  
火災爆発の危険性、有害性を知らせる。
  - : 漏出物を直接、河川や排水施設に流してはならない。  
流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。  
有害性が強いので、周辺の住民に漏洩の生じたことを通報する等の適切な措置を行う。
  - : 火花を発生させない工具を使用すること。  
少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸収して密閉できる空容器に回収する。  
大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。  
危険なくできるときは、漏出源を遮断し、漏れを止める。  
下水、側溝等に入り込まないように注意する。  
水上に流出した非水溶性の製品は、適切な吸収材を使用して回収する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

- 技術的対策
- : 8章の「設備対策」を参照する。  
吸入、皮膚への接触を防ぎ、又、目に入らないように適切な保護具を着用する。  
取扱い場所の近くには、手洗い、洗眼などの設備を設け、取扱

## アサヒシール プライマーB

整理番号 P126102J  
版番号 1.0

改訂日 2013/02/06

発行日 2013/02/06

- い後に、手、顔などをよく洗う。  
取扱い場所は換気を良くし、その周辺での火気、スパーク、高温物の使用は禁止する。  
機器類は防爆構造の物を用い、静電気対策を行う。  
空気と混合して爆発の危険性があるので、蒸気漏れには十分注意する。
- 安全取扱注意事項** : 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
漏れ、あふれ、飛散を防ぎ、みだりに蒸気を発散させない。  
容器は転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の取扱いをしてはならない。  
接触、吸入、あるいは飲込まない。  
屋外、又は換気のよい区域でのみ使用する。
- 接触回避** : 乾燥した、涼しい、換気の良い場所で、容器の栓をしっかりと閉めて保管する。  
熱、火花、裸火のような着火源から離して保管する。  
法令等により規定された基準に従って保管する。
- 衛生対策** : 取扱い後は手をよく洗うこと。  
この製品の使用中は飲食や喫煙をしないこと。
- 保管**
- 安全な保管条件** : 施錠して保管すること。  
保管場所の床は、床面に水が浸入／浸透しない構造とする。  
保管場所は耐火構造とし、屋根を不燃材料で作り、天井を設けない。  
保管場所には、必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。  
静電気対策のために、容器および受器を接地する。  
混触禁止物質：酸化剤
- 安全な容器包装材料** : 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

**管理濃度**

## 作業環境評価基準

- キシレン : 50 ppm [2012]  
エチルベンゼン : 20 ppm [2013]

**許容濃度**

## 日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告

- キシレン : OEL-M 50 ppm (217 mg/m<sup>3</sup>) [2012]  
エチルベンゼン : OEL-M 50 ppm (217 mg/m<sup>3</sup>) [2012]

## ACGIH

- キシレン : TWA 100 ppm [2011]

## アサヒシール プライマーB

整理番号 P126102J  
版番号 1.0

改訂日 2013/02/06

発行日 2013/02/06

---

	: STEL	150 ppm [2011]
エチルベンゼン	: TWA	20 ppm [2011]
設備対策	: 取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。 密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用しなければ取扱ってはならない。	
<b>保護具</b>		
呼吸用保護具	: 防毒マスク（有機ガス用）	
手の保護具	: 保護手袋	
眼の保護具	: 安全ゴーグル 保護眼鏡 保護面	
皮膚及び身体の保護具	: 保護服 安全帽 保護長靴 保護前掛け	

---

9. 物理的及び化学的性質

## 外観

物理的状態	: 液体
形状	: 粘稠
色	: 淡黄色
臭い	: 溶剤臭

## 安全性データ

pH	: データなし
融点・凝固点	: データなし
沸点, 初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: 25 °C
自然発火温度	: データなし
爆発範囲の下限	: データなし
爆発範囲の上限	: データなし
蒸気圧	: データなし

## アサヒシール プライマーB

整理番号 P126102J  
版番号 1.0

改訂日 2013/02/06

発行日 2013/02/06

---

比重	: データなし
水への溶解性	: データなし
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
分解温度	: データなし

---

## 10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: 通常の状態では安定。
避けるべき条件	: 高温
混触危険物質	: 酸化剤
危険有害反応可能性	: 酸化剤と反応し、火災になることがある。

---

## 11. 有害性情報

**製品:**

急性経口毒性	: 区分外
急性経皮毒性	: 区分外
急性吸入毒性	: 区分外
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 区分2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 区分2A
感作性	: 呼吸器感作性: 分類できない 皮膚感作性: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 区分2
生殖毒性	: 区分1B
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 区分1(呼吸器系, 肝臓, 中枢神経系, 腎臓) 区分3(気道刺激性)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 区分1(呼吸器系, 神経系)
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない

**成分:****キシレン:**

急性経口毒性	: LD50 ラット: 3,500 mg/kg
急性経皮毒性	: LD50 ウサギ: > 4,350 mg/kg

## アサヒシール プライマーB

整理番号 P126102J  
版番号 1.0

改訂日 2013/02/06

発行日 2013/02/06

---

急性吸入毒性	: LC50 ラット: 29.08 mg/l 曝露時間: 4 h 試験環境: (蒸気)
<b>エチルベンゼン :</b> 急性経口毒性	: LD50 ラット: 3,500 mg/kg
急性経皮毒性	: LD50 ウサギ: 15,400 mg/kg
急性吸入毒性	: LC50 ラット: 17.2 mg/l 曝露時間: 4 h 試験環境: (蒸気)
<b>シロキサン化合物 :</b> 急性経口毒性	: LD50 ラット: 8,018 mg/kg
急性経皮毒性	: LD50 ウサギ: 4,244 mg/kg
急性吸入毒性	: LC50 ラット: 5.3 mg/l 曝露時間: 4 h 試験環境: (浮遊微粉末) / (煙霧)

---

## 12. 環境影響情報

## 生態毒性

**製品:**

急性毒性

水生環境有害性(急性有害性) : 区分1

長期間毒性

水生環境有害性(長期間有害性) : 区分外

**成分:****キシレン :**

急性毒性

魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 3.3 mg/l  
曝露時間: 96 h**エチルベンゼン :**

急性毒性

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 : 0.4 mg/l

## アサヒシール プライマーB

整理番号 P126102J  
版番号 1.0

改訂日 2013/02/06

発行日 2013/02/06

物に対する毒性 曝露時間: 96 h

## シロキサン化合物:

## 急性毒性

魚毒性 : LC50 (Carassius carassius (コイ)): 55 mg/l  
曝露時間: 96 hミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 250 mg/l  
曝露時間: 48 h藻類に対する毒性 : ErC50 (セレナストラム カブリコウナータム (緑藻類)): 250 mg/l  
曝露時間: 72 h

## 生体蓄積性

## 製品:

n-オクタノール/水分配係数 : データなし  
オゾン層への有害性 : 分類できない

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。  
認可された廃棄物処理施設で廃棄物を処理する。  
廃棄処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。汚染容器及び包装 : 容器はきれいにしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。  
空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去すること。

## 14. 輸送上の注意

## 国際規制

## IATA

国連番号 : UN1866  
輸送品目名 : Resin solution  
国連分類 : 3  
容器等級 : III  
環境危険有害性 : 該当

## IMDG

国連番号 : UN1866  
輸送品目名 : RESIN SOLUTION  
国連分類 : 3  
容器等級 : III

## アサヒシール プライマーB

整理番号 P126102J  
版番号 1.0

改訂日 2013/02/06

発行日 2013/02/06

海洋汚染物質(該当・非該当) : 該当

## 国内規制

陸上輸送 : 消防法等の規定に従う。  
海上輸送 : 船舶安全法の規定に従う。  
航空輸送 : 航空法の規定に従う。輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。  
転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に  
行う。  
該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。  
移送時にイエローカードを保持する。  
火気厳禁

応急措置指針番号 : 128

## 15. 適用法令

## 国内適用法令

労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2(施行令別表第9)) [キシレン, エチルベンゼン]  
労働安全衛生法施行令 - 別表第一(危険物) 引火性の物  
名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条(施行令第18条)) [キシレン, エチルベンゼン]  
第2種有機溶剤(有機溶剤中毒予防規則)  
特定化学物質障害予防規則(第2類物質) [エチルベンゼン]  
特定化学物質障害予防規則(特別管理物質) [エチルベンゼン]

化審法 : 優先評価化学物質 [キシレン, エチルベンゼン]

化学物質排出管理促進法 : 第1種指定化学物質 [キシレン, エチルベンゼン]

消防法 : 第4類引火性液体, 第2石油類非水溶性液体, 危険等級III

船舶安全法 : 危規則第2, 3条危険物告示別表第1: 引火性液体類

航空法 : 施行規則第194条危険物告示別表第1: 引火性液体

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律 : 海洋汚染物質・個品運送

## 16. その他の情報

参考文献等 : 自社データ  
日本工業規格(JIS) Z7252:2009  
日本工業規格(JIS) Z7253:2012  
その他文献調査等により得られた情報

## アサヒシール プライマーB

整理番号 P126102J  
版番号 1.0

改訂日 2013/02/06

発行日 2013/02/06

---

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を、安全に行っていただくために作成されたものです。記載されている情報はいかなる保証もするものではありませんし、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせ使用に関しては有効ではありません。